日本キリスト教団 東金教会〔7〕

２０１８年２月１８日 復活前第６主日礼拝

年度目標 《繋がれて生きる》

聖　句 わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。 ヨハネ福音書１５章５節

【礼拝式次第】

司式	安中三	延里枝
奏楽	付内係	王田川
受付	藤森	田
案内	梅	田
名札		
礼拝感謝祈祷	〃 〃	
前奏		中里
讃美歌	67	一同
使徒信条	566	〃
交読文	6	司・会衆
主の祈り	564	一同
聖書	マルコ福音書1：12〜15	司会者
祈祷		安延
讃美歌	261	一同
み言葉の伝え		朴
［今も聖なるひととき］		
讃美歌	321	一同
献金		
礼拝感謝		森川
〃 〃		王
報告		安延
頌栄	541	一同
祝祷(派遣)		朴
後奏	新聖歌58	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会 2月14日(水)午後7時半〜
早天祈祷会 月-金7時(除祭日)メーヤー館
山田台集会 2月20日(火)午後7：30〜
聖歌練習 本日礼拝後
聖書輪読会 2月25日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 2月25日(日)10:25-10:30

【報告】

☆２月１９日〜２０日，中村牧師と朴牧師は千葉支区教師研修会に出席の予定です。
☆2月２３日(金)教会学校生徒及び教会学校教師、幼稚園・保育園教師を中心に焼肉パーティーが予定されております。午後７時開始です。お肉200グラムの持ち寄りです。お時間のございます方はぜひご参加下さい
☆イースター(４月１日)に受洗希望の方は中村牧師まで申出下さい。
☆2月4日の週報でご奉仕をお願いしました隠退教師をお支えするための100円献金会計担当に新に武田　　兄が加わって下さいました。感謝して報告致します。
☆教会報「朱鷺が峯」編集発行に関し、関心をお持ちの方は中村牧師までお申し出下さい。

【定期長老会報告】

日時…2月11日礼拝後　場所…東金教会事務室
出席…中村牧師　朴　貞蓮牧師　森川　(書記)
足立　安延　土屋　藤本
議事…①教会墓地納骨ケースサンプルの提示及び発注の件　②第二会堂前のアプローチ工事の工期確認の件　③教会・保育施設行事確認の件(2/14「灰の水曜日」。この日より3/31まではレント　2/19-20千葉支区教師研修により中村,朴教師出張　2/20山田台集会　3/2長期宣教委員会,3/12支区常任委員会に中村牧師出席　3/13ときがね幼稚園第90回卒園式,足立長老祝辞　3/20東総分区牧師会　3/25「棕櫚の主日」,受洗試問委員会　4/1イースター礼拝,坂本ナネット姉受洗予定　4/11ときがね幼稚園入園式,安延長老祝辞　④その他　第二会堂前を園庭と区別し、「グラウンド」と呼称する提案及び今後の整備計画検討　3/18朴牧師聖地旅行出発(3/25まで)

【分区・支区・教区報告】

○3/2 14:00 長期宣教委員会 於-西千葉教会
○3/12 17:30- 支区常任委員会 於-西千葉教会
○東総分区牧師会 3/2010：30- 於・東金教会

【２月18日〜２月24日の誕生者】

○今井　姉　※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(2/11)	16	32	48
受洗準備会(2/14)	3	3	6
聖書輪読会(2/11)	3	3	6
教会学校(2/11)	8	8	16

早天祈祷会			
日	男	女	計
2/12	1	2	3
2/13	1	2	3
2/14	1	2	3
2/15	1	2	3
2/16	1	3	4

主日礼拝献金(２/11)……３４，０００円
教会学校献金(２/４)……６，８５５円

【今日のメッセージ】

題　［今も聖なるひととき］
聖　書　マルコ福音書1:１２〜１５

1・試みのときの願い

2・40日間の荒野でもイエス・キリスト

3・どんなときも聖なるひととき

【次週(２月25日)礼拝案内】

題　『わたしの身によって』
聖　書　フィリピ書1:１２〜２１
交読文　7
讃美歌　7番　２２５番
新聖歌　２０５番

【次週(２月２５日)礼拝当番者】

御言葉の伝え	… 中村征一	郎
司式者	… 中	里
奏楽者	… 中	村
受付者	… 阿	部
案内者	… 三	枝
名札当番	… 藤	本
礼拝感謝祈祷	… 安	延
〃 〃	… 薬	師
cs お話し	…	朴
会堂清掃者	… 薬	師
〃 〃	…	寺
花係	… 小	林
看板書き	… 藤	田

【聖書から】

わたしは、こう祈ります。知る力と見抜く力とを身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように。
フィリピ書一章九、十節

神のご存在をわたしたち人間はどうやって信じたらいいのか？　この問題は今日に至るまで解答を見出せない問題である。今でもこの問題を抱え、悩んでいる人は多い。切羽詰まった思いで悩みに悩む、こういった経験をした人が私たちの中にもいると思う。人類にとってこの問題は永遠の謎である。しかし、とは言ってもこの問題を解く鍵が全くないというのではない。二つの方向がある。一は人間の理性を働かせる方向である。神は人に知る力を与えられた。その知る力、理性を働かせて神に至るということである。言ってみれば長い長い梯子を登って神という全知全能のご存在に至る道である、「信じるために我、知る」という標語で知られている理神論と言う教えである。これに対しては鋭い批判がある。人間の不完全な理性で神に至ることはできない、人が用いるべきは理性ではなく、信じる決断だと言う。そしてこの決断は人間の決断でなく、神からの啓示において完遂されるとする(ただしこの点については人の自由な決断と理解する人もいる)。これは「知るために我、信ず」という言葉で知られている。そしてこれらをどう理解しているかで信仰の理解はその根幹において異なる。筆者は「知るために信じる」と理解している。そして「信じる」ことは啓示によると思っている。つまり全ての始まりは神によるのである。神が人を選び－これは誤解をまねき易い言葉ではあるが－啓示をもって信仰を与え、そこから彼の信仰生涯は始まるのである。そしてその歩みの過程において真理なる神はその人に本当の意味で「知る力」「見分ける力」を与えられる。つまりは神の真理の一端を与えて下さるのである。これは信じて初めて経験することであるが、本当にそうだと思う。信仰者の歩みは足りないながらも神の真理を分け与えられ、本当に大事なこと、確かな本物を見分けながら生きる歩みである。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。